

# 市政おおの

53. 6. 1  
No.289



## 亀山で探鳥会 「ほら、ホホジロだよ」

探鳥会が5月14日亀山公園で開かれました。

午前5時30分、郷土歴史館前には小・中学生からお年寄りまで250人が参加。日本野鳥の会県副支部長の上木泰男先生ら3人の講師の説明を

聞きながら、若葉の陰や高いこずえを飛び交う小鳥の姿を双眼鏡で追ったり、かわいいさえずりに耳を澄ましたりして、楽しいひとときを過ごしていました。

上木先生は「きょう亀山公園で確

認できたのはホホジロ、イカル、カワラヒワ、ムクドリなど18種類です。

市内での小鳥の楽園は小池の刈込池周辺と宝慶寺でしょう。30種類はいますよ。一度訪れてみて下さい」と話していました。



市内五十二社寺の文書が収録された大野市史  
第一巻

## 大野市史第一巻

# 社寺文書800点を集大成

## 古いものは道元禅師の法話録

800点の貴重な社寺文書を集大成した「大野市史第一巻」と江戸時代の医療・結婚のしきたりなど興味深い史料を盛り込んだ「奥越史料第7集」が相次いで発刊になりました。

市制20周年記念事業の1つとして編集が進められていた「大野市史第一巻」は「史料編社寺文書」で、市内52社寺にある約800点の文書が収録されています。

古いものでは宝治2年(1248)の

道元禅師直筆の法話録と伝えられている「鎌倉名超白衣舎示誡」や各神社・寺院の創立、移り変わりを記録した文書、領主や藩主が各社寺に出した安堵(ど)状や寄進状、歴代神主や住職の記録、近くは明治6年の越前大野一揆の文書、それに大野地方に関係のあった78人の著名な人々の花押・印章など、鎌倉時代から明治初年までの貴重な史料が収録されています。

この史料収集は、市史編さん室が発足した昭和51年4月から7人の編さん委員と編さん室職員が1年がかりで行い、これをすべてマイクロフィルムに納めました。

第1巻はこの収集史料約1,500点の内、重要なものを厳選して掲載されています。

本の大きさはA5判、布クロス張りの表紙に金文字入りで、宗教史専門の重松明久広島大学教授が監修し、1,000部印刷しました。予約出版ですが、まだ若干在庫がありますので希望される方は市史編さん室(有終南小学校内)へおいで下さい。

代金は1冊5,000円です。

## 緑に映える純白の天守閣

# 越前大野城「お化粧直し」



越前大野城はこのほど外装のお化粧直しを終え、真白い天守閣が深緑の中にひと際映えています。

補修工事は約360万円をかけた昨年11月に着工し、白壁やよろい壁軒裏など約1,600平方メートルのペンキ塗り、408本のコンクリート製のたる木の端に銅板を取り付けました。

城は昭和43年に再建されて以来風雨や雪にさらされて白壁やよろい壁が汚れ、たる木も端が凍結でヒビ割れが生じたため、初のお化粧直しとなりました。

## 第二巻は諸家文書 史料提供に協力を

ことしから「市史第二巻」諸家文書編に取り掛かり、昭和55年3月に刊行する計画です。

この第二巻は、市内の各家庭に埋まれている「町方」「村方」の古文書を収録しますので、史料の収集に当たっては特に市民のみなさんご協力をお願いします。

古文書であればどんなものでも結構です。ありましたら下記の史料収集協力員さんか市史編さん室(6-111内線 409)へご連絡願います。

史料はフィルムに納めた後、すぐお返しします。

今後の市史編さんは、第二巻に続き藩政史料編、金石文書編、史料総括編、写真図版編、通史編年体、通史各説編(上)、通史各説編(下)全9巻を約10年間で刊行する計画です。

史料収集協力員名(敬称略)

大野地区担当 宮内健(日吉町)  
下庄地区担当 田中末六(中荒井)  
                  佐々木信治(西大月)  
乾側地区担当 小林利右衛門(坂戸)  
小山地区担当 齊藤庄吉(上舌)  
上庄地区担当 齊藤賢太郎(今井)

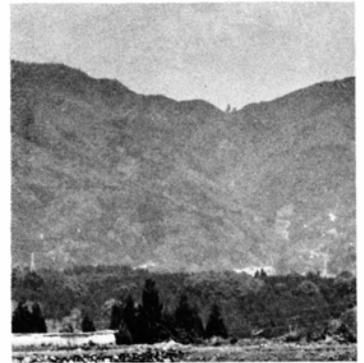


### ③桃木峠

中休あたりから東の山を見るとりょう(稜)線の一番くぼんだ所に大師杉が見えます。弘法大師が杉はし(箸)をさしたら根がついたといわれていますが、そこが桃木峠です。伏石から落合、堂島、金山を経て峠に達し、そこから打波の嵐、桜久保に通じています。

道に沿って旅塚川が流れていますが、明治28年と29年に未曾有の大洪水があり、あまりのひどさに荒神様が大きな石を川に投げ、それを鎮めたそうです。

金山は慶長のころ、1,316戸の金山町として繁昌し、長條町、四番町、長存坊屋敷などの街路があり、現在も土橋さんの家は「一番町」と呼ばれています。道端には紙を作ったうす(臼)が置いてありましたが、昔は和紙づくりも行われていたようです。山を登って



いくと、炭俵を背負った人が腰を下して休んだ「石休み」という所があり、さらに登っていくと廃坑の跡があります。

峠を下ると嵐に達しますが、昭和45年までは10軒の家があり、打波小学校の分校もありました。嵐の人たちのつくった赤カブラの漬物の味はまた格別でした。昭和48年には約百年の歴史をもつ打波小学校も閉鎖されました。5月はじめ、途中の集落の随所で見られる満開の桃の花が、往時を語り伝えているようでした。(T生)

上庄地区担当 木間裕順(木本)  
富田地区担当 中兼一男(七板)  
                  " 帰山甚左衛門(蔵生)  
阪谷地区担当 松村利章(南六呂師)  
五箇地区担当 大倉二男(有明町)

900円でお分けしています。

内容の主なものは次のとおりです。

- 1、大野洋学館教授伊藤慎蔵の書簡18通  
伊藤慎蔵が坂井郡の藤野昇八郎へあてた手紙17通と家老内山七郎右衛門ら藩士にあてたもの1通
- 2、草医の秘法  
町医者桜井氏の医療の秘法を伝える古文書で、当時の診療の状態がよくわかる。
- 3、面谷鉦山史料  
採鉦、精錬に要する費用や従業員賃金、燃料費など鉦山の実態がよくわかる。
- 4、結婚史料  
納結、こし入、かえりなど当時の風習が記録されており、さらに献立て、物価も細かに記されていておもしろい。
- 5、その他  
「松丸館跡の発掘調査報告」「越前大野城石垣補修記録」などがある。

## 奥越史料第7集

### 興味深い内容でいっぱい

江戸時代の医療、結婚のしきたり



A 5版 148ページの奥越史料第7集

大野市教育委員会は5月10日奥越史料第7集を500部発刊しました。

内容は、大野洋学館教授伊藤慎蔵の書簡、漢方医文書面谷鉦山史料、結婚史料など、これまで発表されていない興味深い史料でいっぱいです。A 5版 148ページで、希望者には郷土歴史館(柳廼社境内)において1冊

# 適産品求めて 転作への努力

米から他の作物への転換は「米どころ大野」の農家にとって大変な出来事です。

でも、各農家では年々厳しくなる稲作転換に対処するため、既にいろいろな準備が進められており、今収穫期を迎えたイチゴと麦は栽培農家も増え、大野の適産品として今後大きく伸びようとしています。



→ ジャム用イチゴの採り入れ作業をする、福田政吉さん一家(塚原)

## イチゴづくり

## 三百十戸、百九十五トンを出荷

増産してジャム工場誘致目指す

初夏の味覚、イチゴの収穫が始まり、ことしは市内で195トンの生産が見込まれています。

栽培農家は310戸、作付面積12㌥で、昨年の250戸9㌥、一昨年の230戸6㌥に比べますと、年とともに着実に伸びています。

イチゴは「県の転作奨励作物」であり、市では昭和45年からイチゴ、里芋、ニンジンの3種を「市の特産物」として生産を奨励してきました。

市内で生産されている品種は主に

マーシャルでジャムの原料になり、価格もことしは10㌥当たり粗収益45万円が見込まれ、大手メーカーとの契約栽培であるため安定しています。

その上、ヘタ取り機、選別機などの機械化によって、収穫するとそのまま加工工場へ出荷するシステムになっているため、以前とは人手間がかからなくなりました。

大野市農業協同組合の奥越イチゴ加工場(月美町)では、ことしヘタ取り機2台を800万円で購入し、

計4台を連日フル運転させて第一次加工をしており、栽培指導や振興を手掛けている同組合では「3年後には生産量を500㌥までに増やし、加工機械も充実していきたい」と意気込んでいます。



新しい機械を入れ、フル操業している奥越イチゴ加工場

## スマイル

「虫歯予防デー」

予防には歯が立たん

—虫歯

収穫五十トンは県内作付種子に活用

川下五  
条方上

### 集団栽培に成功

ムギづくり



下五条方の麦栽培を視察する「麦の採種技術研修会」の人たち

研修会」が5月11日市民会館で、県内各農協、農業改良普及所、市町村の指導者など170人が集まり開かれました。

麦は過去10年間、どの市町村でも栽培経験が乏しいため、出席者は少しでも多くのことを学ぼうと、講義や現地視察の間にメモを取り真剣に取り組んでいました。

この研修会が大野市で開かれたのは、乾田地帯が多く水田での麦栽培に適していることと、下五条方や川上では既に大麦の集団転作に成功し下五条方は県内で最も多い14区、川上は7区を作付して収穫を待つままの状態にあり、麦作の先進地として選ばれたからです。

県の計画によりますと、昨秋県内で作付された大麦は230区、ことしは一挙に4倍の1,000区を目標にしており、今月収穫される下五条方のハヤタ麦35トと川上のミュキ大麦15トはすべて県に買い上げられ、今秋県内に作付される種子に当ててなっています。

下五条方麦生産組合員の米村条雄さんは「ことしの麦は10区当たり基準粗収益5万4,000円で収益の多い作物ではありませんが、水田で稲作の機械をそのまま使って生産でき、人手間も少なくすみます。有利な後作を研究してセットにすれば、転作にはよい作物だと思います」と話しています。

転作の「特定作物」に指定されている麦の生産を増やすため、県主催の「麦の採種技術収穫調整技術の研

## 勤労者に生活資金貸し出し

### 無担保で50万円まで



利用の相談をする市民(労金大野出張所で)

市は勤労者の生活安定と福祉の向上を目的として、5月から「勤労者生活安定資金融資」の制度を設けました。

現在の職場に1年以上勤務している市民ならどなたでも手軽に利用出来ます。

融資の限度額は1人50万円、過

去3カ月間の家族の平均月収が返済払込み月額の5倍になることが要件です。

利率は年6%、融資期間は3年以内の月賦均等償還で無担保ですが、保証人が必要です。

利用されるときの手続きは、窓口の県労働金庫大野出張所(明倫町)でご相談下さい。

この制度は市が2,500万円を労働金庫に預託し、労働金庫が総額5,000万円の融資わくを設け貸し出すもので、市の預託金の利子そのまま利用者の金利補てんに回されるため、金利が安くなっています。最高限度額の50万円を借りた場合は3年償還(35カ月)で月々1万5,700円を返済し、元利合計は55万9,500円になります。

# 粗大ゴミ

そのまま出されては困ります

テレビ・冷蔵庫バラして小さく

“燃えるごみ、と“燃えないごみ、とに分けて出す「分別収集」には日ごろご協力いただいておりますが、いまだに燃えるごみの中にジュースの空きカンなどが混入され、機械の操作に支障をきたしていますので、ご注意ください。

また最近特に目立ち始めたのがテレビ・冷蔵庫・自転車・バイクなどをそのままステーションに出される



ステーションにそのまま出された冷蔵庫(上)とテレビ(右)

ことです。

このような粗大ごみは、これまで各家庭で廃品回収に出すとか、新製品の購入の際に業者に引き取ってもらうなどして出来るだけ各自で始末していただき、やむを得ない物だけステーションへ持ち出されるようお願いしてきました。

昨年までは、粗大ごみを収集してきますと、埋め立て処理をしてきましたが、埋立地もすでに余裕がなくなり、この処理方法も困難になって



焼却場に山積みされている粗大ゴミ

きました。

そこで、4月からは新しいじんかい焼却場で破砕機を使い、プレス(圧縮)して処理しています。

カン類や食器類などの日用廃棄物は、この機械にかけ効率的に処理できますが、テレビ・冷蔵庫・自転車などは大きいため、破砕機にかけることができません。

各家庭では、電気製品がなくなった場合は、まず従来どおり“業者引き取り、とか“廃品回収に出す、などの処理をしていただき、やむを得ないときには、破砕機にかけられるよう小さくバラしてステーションへ出すようにして下さい。

## 所得税の特別減税

### 本人は6,000円

事業所得者は手続き忘れずに

昭和52年分所得税の特別減税が行われ、次の金額が還付されることになりました。

還付される金額は、本人 6,000円 控除対象配偶者や扶養親族は1人につき 3,000円として計算した金額です。ただし、昭和52年分の所得税額の方が少ないときは、その税額までとなります。還付方法とその手続きは次のとおりです。

〈サラリーマンの場合〉

6月1日現在、昨年と同じ会社に勤務しているサラリーマンは、6～7月ごろ勤務先から還付されます。

〈事業所得者などの場合〉

事業所得者など確定申告をして納税した人は、6月末ごろに税務署から特別減税についてのお知らせが送付されますから、これに同封してある還付請求書用紙に所要の事項を記

入して、税務署に送り返して下さい。

後日、税務署から還付金の支払通知書が送られてきますから、この支払通知書によって郵便局で還付金を受取ることになります。

〈その他の人の場合〉

ことしになって5月末までに退職した人や、昨年中途で退職した人などは税務署へ還付請求をして下さい。

この場合、昭和52年分の確定申告書を提出していない人は、期限後の確定申告をして、特別減税を受けることになっています。

詳しいことは、大野税務署(6-2180)へお尋ね下さい。

## 子供の水死事故を防ごう

### あぶない所を みんなで点検



水にあこがれる季節になりました。水辺に遊ぶ子供たちの姿はまことに生き生きしていますが、反面悲しい水死事故が起こるのもこのシーズンです。

子供の水死事故は「ちょっとした油断、目を離したすき」に起こります。

各家庭や町内会では、次のことを実行して事故防止に努めましょう。

1. 古井戸やため池などを点検し、周囲にさくを作る。
2. 幼児の事故を防ぐため、ふろ場

の水そうに水をはったらドアのかぎを掛ける。

3. 川や池の近くでは幼児を遊ばせない。
4. 用水路に水が多い季節。絶対に水路の横を歩かないよう、指導する。

## 52年度交通災害共済

加入率六十七%  
見舞額は九百三十万円

この程、昨年度1年間の交通災害共済事業の結果がまとまりました。

年間1人450円の掛け金で2万9,003人が加入しており、総額30万9,000円の見舞金が支払われました。

加入者は前年に比べ1,160人増え、加入率は67.8%になりました。

事故による見舞金の主なものは、死亡の1等級災害が9件で553万円と金額では一番大きかったのですが、全体としては軽度の事故が多く、見舞金の総額は前年度に比べて38万3,000円少なくなっています。より多くの人に加入していただくため、現在も市生活環境課で加入申し込みを受け付けておりますので、未加入の方は1日も早く加入して下さい。

## 今月の納税

市・県民税、国民年金保険料  
第1期分  
30日までに納めて下さい。

## お知らせ

### 学校用務員、調理員の募集

〈採用予定人員〉学校用務員1人、  
学校調理員3人

〈資格〉昭和23年4月2日～35年4月1日に生まれた者で、調理員受験者は調理師の資格を有する者

〈申し込み期日〉6月20日(火)まで

〈申し込み方法〉市教委にある申込書、履歴書(写真添付)、調理員は調理師免許証写を市教委庶務課に提出

### 市民、大野マラソン大会

健康維持のスポーツとしての市民マラソンと、競技本位の大野マラソンの2つの大会が6月11日(日)開かれます。

市民マラソンは午前8時に市役所前へ集団、8時45分からAコース2<sup>キロ</sup>、Bコース5<sup>キロ</sup>の各コースに分かれて出発します。男女とも小学5.6年生、中学生、高校生、一般の人を対象にして、自分の体力に合ったコースを選んで参加することになっており、小・中学生の場合は保護者の同意書が必要です。

大野マラソンは午前9時10分市役

所前集合、10時30分に10<sup>キロ</sup>コース(高校生、一般)20<sup>キロ</sup>コース(一般)に分れて出発します。コースは自分に適したものを選んで下さい。

両マラソンとも、7日(水)が申し込み締め切り日になっています。

参加希望者は市体育課(6-1111内線406)へ連絡して下さい。

### 悪質な消火器の訪問販売

「消防署から来ました。家庭でも消火器を置かないと罰せられます」などと巧妙な口で消火器を訪問販売する者があります。

消防署員が消火器の販売をすることはありません。消火器を置かないからといって罰せられることはありませんが、消防署では各家庭に消火器を設置していただくよう望んでいます。

あなたのお宅に、もしこのような不審な販売者が来ましたら、消防署(6-1111内線414)か大野警察署(6-3900)へすぐご連絡下さい。

### 事業所統計調査

「事業所統計調査」が6月15日、全国いっせいに行われます。

10日ごろ調査員が各事業所におうかがいしますので、ご協力下さい。

### 納税1カ月内の証明には領収書を

市・県民税、固定資産税、保険税の3税は、納税済の整理をそれぞれ1カ月ごとに一括して電算で処理することになりました。そのため、納税されて1カ月以内は市の帳簿に消し込みされませんので、その間に納税証明が必要なときは、お手数ですが、税の領収書をお持ちになって、市税務課までおいで下さい。

### 生活用品交換情報

〈譲ります〉原付自転車

〈譲って下さい〉ベッド(セミダブル)、オルガン、卓球台、婦人用自転車

品物を譲りたい人、譲ってほしい人は、市生活環境課(6-1111内線24)へご連絡下さい。

# 市民カレンダー

## 6月10日～24日

10(土) 時の記念日

11(日) 入 梅	市民マラソン	8.45～10.30	市役所前出発
	大野マラソン	10.30～12.00	市役所前出発

12(月)	人権相談	10.00～15.00	上庄公民館
	行政相談	10.00～15.00	上庄公民館

13(火)	三種混合接種	13.30～14.00	下庄、乾側公民館
	交通事故相談	10.00～15.00	市役所

14(水)	三種混合接種	13.30～14.00	市民会館 富田公民館
-------	--------	-------------	---------------

15(木)	三種混合接種	13.30～14.00	上庄、阪谷公民館
	心配ごと相談	10.00～12.00	市役所

16(金)	行政相談	13.00～16.00	小山公民館
-------	------	-------------	-------

17(土)	三種混合接種	13.30～14.00	小山公民館
	三種混合接種	13.30～14.30	大野公民館

18(日) 家庭の日 父の日	県視力障害者 福祉大会	10.00～15.00	有終会館
-------------------	----------------	-------------	------

19(月)	人権相談	13.00～16.00	大野公民館
	税務相談	10.00～16.00	大野商工会議所

20(火)	労働相談	13.30～16.00	大野商工会議所
	行政相談	10.00～15.00	富田公民館

21(水)	結婚相談	10.00～15.30	有終会館
-------	------	-------------	------

22(木) 夏 至	心配ごと相談	10.00～12.00	市役所
-----------	--------	-------------	-----

23(金)	社会保険、年金相談	13.00～15.00	大野織物工業組合
-------	-----------	-------------	----------

24(土)

### 市民ハイキング

〈日時〉6月18日(日) 雨天中止

〈目的地〉刈込池

〈集合〉午前8時30分までに、国鉄越前大野駅前。鳩ヶ湯まで往復バスを利用

〈会費〉大人 1,500円 子供 750円(交通費など)

〈定員〉50人、受け付け順に締め切りです。

〈申し込み〉6月15日(木)までに市体育館(6-1111内線406)へ

〈持ち物〉昼食、雨具、水筒

〈コース〉国鉄駅前(バス)→鳩ヶ湯→下小池→刈込池→下小池→鳩ヶ湯(バス)→国鉄駅前

市民ハイキング 8.30～18.30 刈込池  
(モリアオガエルを見に行こう)

胃検診 9.00～11.00 小山公民館  
(申し込み者のみ)

胃検診 9.00～11.00 上庄公民館  
(申し込み者のみ)

日本脳炎予防 13.30～14.30 大野公民館  
(3～15歳)

胃検診 9.00～11.00 上庄公民館  
(申し込み者のみ)



六月になると間もなく梅雨に入る。ここの予報では、陽性でしかも長びくとか▼「雨、雨、ふれふれ、かあさんが……」長崎はきょうも雨だった……」等々、童謡や歌謡曲にずいぶん雨が歌われている。また、映画やテレビの画面に、それが人生ドラマであるとき、必ず何回か雨のシーンが入ってくる▼雨を感傷的にとらえるのは自由である。しかし、もっと現実的に考えるとき、問題はいくつもある▼雨の日の自転車に問題がある。危険なカサさし運転がまだチョイチョイ見受けられる。めったなことではなからうという自分に対する甘えがいけないのだ。カサもささずに、ぬれながら向う見ずに走る姿は、勇敢で純情な感じもするが、これも危険度が高い▼途中から降り出した日など、幼稚園や小学校の玄関先に、カサを持った父兄が列をなす。少々過保護ではないだろうか。雨の目をよいチャンスとしてとらえ、わが子の不用意を注意し、よいしつけを身につけることも考えねばなりません。▼湿度が高くなれば不快指数も高くなる。外での遊びや運動ができなくなる。外を歩けば衣服がぬれる。洗たく物が乾かない。食べ物がかさりやすくなる。時には大雨による洪水や山崩れが発生する。梅雨の季節は、とかくわれわれにとっては嫌である。だが、作物には大切な慈雨である。生活に対する甘えを克服して、積極的な姿勢を持つことが必要ではないか。

(N生)